

口腔顎顔面矯正学分野 特別講演のお知らせ

『外科と矯正の協働がもたらす治療最適化：都市型歯科病院からみる症例ベースの考察』

日時：2026年7月8日(水)16:30～18:30

場所：歯学部3階 講堂

演者：納村 泰弘先生

日本大学歯学部歯科矯正学講座



講演抄録

本講演では、日本大学歯学部附属歯科病院が都市型歯科病院として担う役割を踏まえ、矯正歯科領域における治療傾向と治療流派の特色について、複数の代表的症例を通して概説いたします。まず、成人に適用される **Surgically assisted rapid palatal expansion (SARPE)** 症例や閉塞性睡眠時無呼吸 (**OSA**) 症例では、口腔外科との緊密な連携を前提とした治療体制が不可欠であり、骨格的制約を伴う症例に対して外科的介入と矯正歯科治療を統合することで、咬合再構築と呼吸機能の改善を同時に達成するアプローチを供覧いたします。さらに、過蓋咬合症例や引継ぎ症例においては、審美要求度の高さや長期治療による治療難易度の困難さに対し、トラブル回避のための情報共有、治療計画の標準化、そして機能的改善と審美性の両立を図る意思決定プロセスの重要性などを提案し、症例を通じて、都市型歯科病院が求められる多様な患者背景への柔軟な対応、他科との協働、迅速かつ精度の高い治療結果について考察できればと考えております。

※本講演は、大学院医学研究科、医科栄養学研究科、口腔科学研究科の大学院特別講義ならびに、クラスターコアセミナー（骨筋Caクラスター）を兼ねています。大学院生のご来聴を歓迎いたします。

連絡先：口腔顎顔面矯正学分野 田中 栄二

(088-633-7357 内線5291) etanaka@tokushima-u.ac.jp